

令和2年度 施策評価シート

■第5次粕屋町総合計画の体系

まちづくりの目標 (施策の大綱)	基本目標2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち				
	3 自然にやさしく住みよい環境のまちづくり				
施策名	(2) 環境負荷の少ない循環型社会の創造				
施策コード	2-3-2	施策構成	2 事務事業	決算額	410,875 (千円)

■目標／指標の達成度

基本計画に掲げる目標／指標			単位
①	実感指標	リサイクルを心がけている町民の割合	%
②	客観指標	一日一人あたりのごみ排出量(道路環境整備課)	g/日
③			
④			

アウトカム／成果目標の進行管理										
	当初値	28年度末	29年度末	30年度末	元年度末	2年度末	目標値	達成度	変更目標値	変更年度
①	69.9	70.9	78.8	82.3	83.6	—	↗	—		
②	726	691	683	690	692	700	700	100%		
③										
④										

■施策における総括

前年度までの課題	町民及び事業者にごみの分別方法を徹底しリサイクル意識の向上を図り、ごみの排出量を削減する必要性、リサイクル置場の利用促進を啓発する必要がある。また、現在問題となっている廃プラごみについての対応を検討する必要がある。
今年度の取り組み(成果、効果)	マイバッグ配布量を増加し、レジ袋削減に努めた。住民や事業者に対して適切なごみの処分方法の周知を行い、分別不適切ごみの減少を図った。
次年度以降に改善すべき課題	ごみの適切な搬出方法を周知することで、リサイクル置き場の利用促進及びごみの分別徹底を図る必要がある。プラスチックごみ削減の取組として、マイバックの持参を推進する。町民のリサイクル意識をさらに向上させる取組を検討する。

■総合計画の進行管理

(1) 施策実現への取り組み		(2) 施策実現への進捗状況	
	①着実に取り組まれており評価できる。		①計画以上に進んでいる。
○	②取り組まれているが、まだ改善の余地がある。		②計画どおり順調に進んでいる。
	③取り組みが不十分であり対策が必要である。	○	③進んではいるが、スピードが遅い。
	④取り組みがなされていない。		④進捗が見られない、または後退している。